

入札結果表 (入札額の高額順に並び替え)

(地域介護福祉空間施設および子育て支援センター建設工事)

	指名業者	入札額	比率 %
	(株)辻正	1億 7780万	99.887
	(株)土屋組滋賀彦根支店	1億 7530万	98.483
	(株)長組	1億 6500万	92.696
	丸平建設(株)滋賀支店	1億 5700万	88.202
	淀建設工業(株)滋賀支店	1億 5219万	85.500
落札	(株)浜野工務店	1億 5164万	85.191
失格	(株)マルヤマ甲良営業所	1億 5150万	85.112
失格	辻寅建設(株)彦根支店	1億 5131万	85.005
失格	岐建(株)滋賀支店	1億 4780万	83.033
辞退	(株)秋村組彦根支店		
取扱き	(株)伊藤組		

@公表予定価格は1億 7800万円

調書記載価格は1億 7840万円

1億 7840万円×85% = 1億 5164万(落札額とピッタリ一致)

@失格 = 最低制限価格を下まわって入札した社

落札額は最低価格とピッタリ 「+40万」知ってたの？ 确实落札の裏ワザか

第4回調査委員会が去る14日開催され、官製談合疑惑について、山崎前町長、濱野議員、山田議長の証人喚問を行い、3人とも談合への関与を全面否定。では、争点と疑問点は？

明らかになった 争点と疑問点

浜野工務店の入札額が最低制限価格とピッタリ一致したことは、一円の隙間も作らず、确实落札をねらった意図が見えてきます。

「公表予定価格」と「予定価格の積算根拠となる設計価格」の「10万単位の端数切り」の事実が明らかに。福祉施設では40万円、呉竹センターでは30万円の差額がつけられ、この差額を知り得ない限り、入札額が最低制限価格にドンピシャ一致させられない(左表)。この謎が最大の争点に浮上してきました。この「差額づくり」は誰が指示したのか？実務担当である参考人の証言との食い違いをさらに検証する必要があります。

明らかに各付けが異なる県3号リンク業者が、県1号、2号と同格になるよう昨年4月に「建築」の指名基準の区分変更が実行されたことが明らかに。この変更こそ浜野工務店を指名するための恣意的な変更ではないか？ 仲介した人物がいるのでは？ 「官製談合疑惑」の解明は、主に、この2点に絞られています。



傍聴感想記

調査委員会を傍聴されたKさんから感想が寄せられましたので、紹介します。

ワソの感じ強く

5月14日に傍聴させていただいた感想は、あまりにも当たった方が白々しく、悔しさを感じました。公共のお金を私物化し、罪のない者を犯人扱いする人間だと思った。特に濱野議員は最初から計画的な考えで、のらりくらりとウソばかり並べまくっている感じが強く、イライラしました。また山崎義勝氏は過去いく度か土地ころがしの疑惑にからんでおり、それは当然と言わんばかり。絶対に許せない。私の思いは、官製談合のお金の経緯がしっかりと町政の方で調査していただいた方が勝利の近道だと思えますし、また、町政はそれを調査すべきです。

悪いことしたものは必至で自分の財産を守ることはかりで、町会議員、前町長の立場でありながら、悪質なやり方を町民の全てで裁いていきたいし、町政の方々もこのようにすることができないよう全て膿を出してほしい。

第5回 100 条調査委員会

官製談合疑惑を解明する100条調査委員会はこれまで、官製談合を示唆したとされる元主監の会話を収録したYさん、元主監、山崎前町長、濱野議員、山田議長が証人喚問され、入札事務を担当した2人の町職員が参考人で招致されました。

第5回調査委員会は、「官製談合疑惑」を早くから指摘してきたM氏を証人として招致します。

5月24日(月)午前9:30開会

甲良町役場2階にて

参考人: H氏(当時の担当課長) 9:30~

公表予定価格と調書記載額が異なる経緯

証人: M氏(建設会社社長) 10:30~

早くから官製談合を指摘した根拠・理由

どなたも傍聴できます

税金ひとり占め

各紙、テレビも注目し始めています。「談合」そのものへ世論の批判が厳しくなる中、最近、豊郷町などの「談合」を断罪する判決が確定しており、住民の関心が高まっています。談合は「税金を独り占め」の構図であり、貧困と格差、中小商工業・建設業者の経営が危機的状況にある中でいささかも許せるものではありません。(N)

募金のお願い 日本共産党は企業献金も政党助成金も受け取らず、党員の党費、募金などの資金で活動しています。

甲良民報

2010年5月23日 446号
 発行責任: 日本共産党甲良町支部
 代表: 西澤伸明 甲良町在士 463
 Tel. Fax 38-4949